

令和 3 年度

九州地区 WEB 配信による現場見学会および講演会 開催報告

一般社団法人ダム工学会 企画運営委員会
活性化推進小委員会 九州地区連絡会 幹事

ダム工学会九州地区連絡会では、今年度で 16 回目となる立野ダムの現場見学会を、令和 3 年 12 月 16 日（木）に「WEB 配信」にて開催し、無事終了しましたので御報告致します。

1.はじめに

ダム工学会九州地区連絡会では、一般・学生の方々、ダム技術者・研究者およびダムファンに、ダム現場見学や講演会の場を提供することで、ダムに関する基礎知識や情報を社会に広く適切に伝え、ダムに親しんでもらえるようにとの思いから始めました。

本年度は、西松建設(株)、(株)安藤・間、青木あすなろ建設(株) 特定建設工事共同企業体の協力を得て、熊本県の「立野ダム」の建設見学会を WEB 配信にて開催し、盛況のうちに無事終えることができましたので、以下に実施した概要をご報告いたします。

ダム工学会主催 WEB配信による現場見学会 および講演会のお知らせ

深秋の候、皆様におかれましては、益々ご繁栄のこととお慶び申し上げます。

さて、ダム工学会九州地区連絡会では、今回で 16 回目となる現場見学会を、西松・安藤ハザマ・青木あすなろ特定建設工事共同企業体のご協力を得て、立野ダムの施工現場を撮影した最新の動画配信にて開催する運びとなりましたのでお知らせいたします。

立野ダムは、白川沿川の洪水被害を防ぐことを目的とした流水型ダムで、現在、本体基礎掘削工事が進み、堤体コンクリート打設工事の最盛期となっております。

また、最近のダムに関する話題としまして、九州大学大学院の矢野 真一郎教授より、流域治水や気候変動の影響に対するダムの位置付けに関するご講演をライブ配信いただきます。

2.見学会の概要

● 開催日

開催日：令和3年12月16日（木曜日）

● 参加者：52名

開催日	大学（学生）	官公庁	民間	一般	計
12月16日（木）	5名（3名）	5名	41名	1名	52名

● 見学会プログラム（当日配布資料）

プ ロ グ ラ ム

<u>17:30～17:35</u>	<u>開会挨拶</u>
<u>17:35～17:50</u>	<u>立野ダム工事現場概要(動画視聴)</u>
<u>17:50～18:10</u>	<u>リモート現地見学会(動画視聴)・質疑応答</u> 西松・安藤ハザマ・青木あすなろ特定建設工事共同企業体 立野ダムJV工事事務所 所長 中井利幸 ダム工学会九州地区連絡会 幹事 八千代エンジニアリング株式会社
<u>18:10～18:55</u>	<u>講演「気候変動・流域治水・ダムによる適応」</u> 九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門 教授 矢野真一郎
<u>18:55～19:00</u>	<u>閉会挨拶</u> ダム工学会九州地区連絡会 会長 矢野真一郎

3.立野ダム見学

(1) 立野ダム事業概要説明

まずは立野ダム JV 工事事務所の中井所長より立野ダムの事業概要説明を頂きました。



【中井所長による説明】

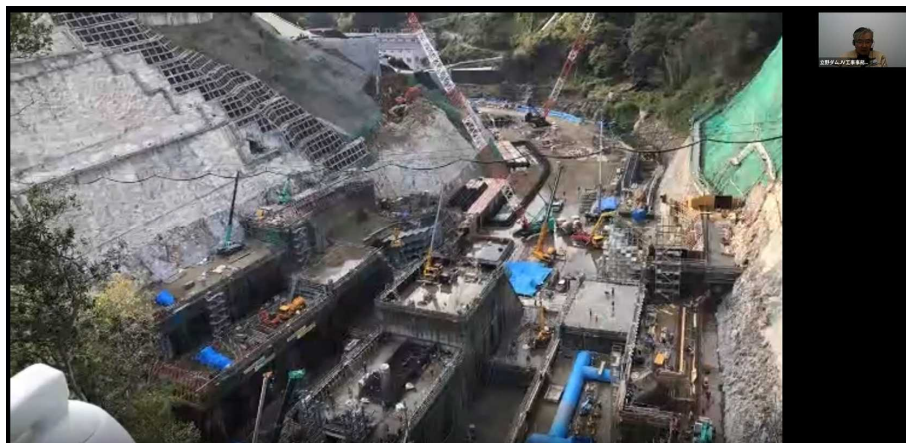


【事業概要動画】

(2) 立野ダム現場見学

立野ダムは、白川上流域に、洪水調節を目的として計画された治水専用ダムで、堤高 87m、堤体積約 40 万 m^3 、総貯水量 1,010 万 m^3 の重力式コンクリートダム（流水型）です。

見学は、事前に撮影した動画により全景～転流工～堤体工～減勢工～左岸リムトンネル～打設状況（夜間打設）の順で行いました。



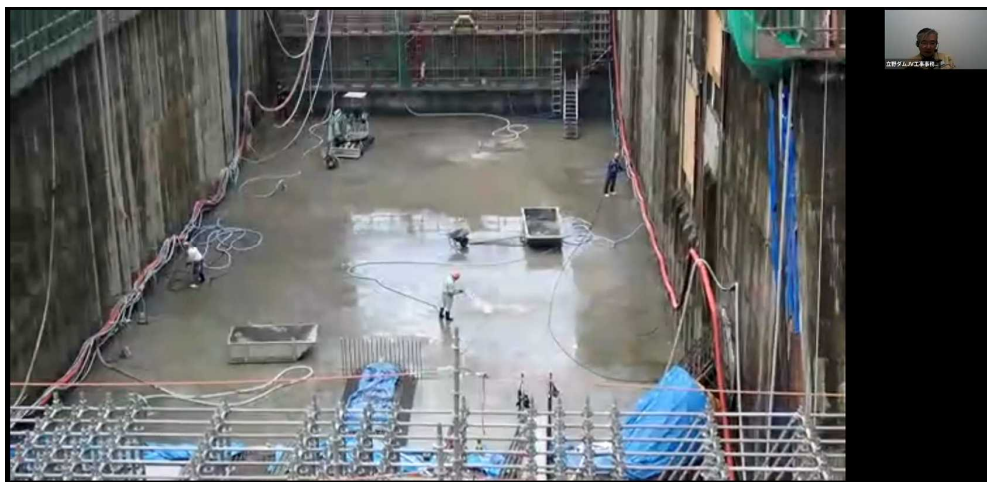
【全景】



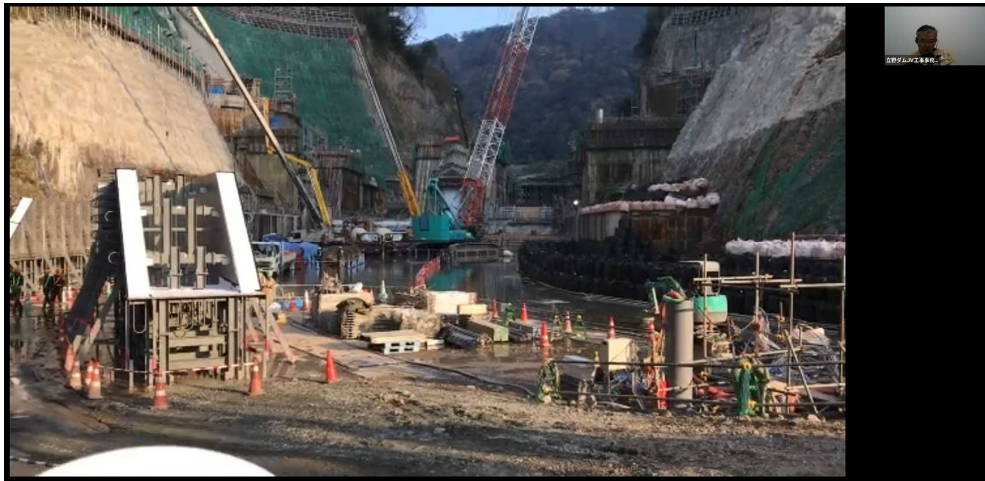
【仮設備】



【転流工】



【堤体工】



【減勢工】



【左岸リムトンネル】



【打設状況（夜間打設）】

4.講演会

九州大学大学院工学研究院 矢野真一郎教授より、「気候変動・流域治水・ダムによる適応」というタイトルにて、講演を頂きました。



【矢野真一郎会長による講演】



【講演状況】

5.おわりに

今年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、WEB 配信による建設中の立野ダムを見学するコースとしました。

WEB 配信という初めての試みによる現場見学会および講演会のため、不慣れなこともあり、参加者やご協力いただいた関係者にはご負担をおかけしましたが、参加頂いた方からは「建設中のダム現場を見る機会は中々無いのと、機会があっても実際に現地まで足を運ぶのは大変なので、オンラインという形で現場を見学出来たのはとても良い機会になりました。」などのご意見を頂き、概ね満足頂けたかと思います。ご協力を頂いた立野ダム建設事務所の方々、立野ダム JV 様その他関係各位には厚く御礼申し上げる次第です。